

**豊明市事務事業評価票（17年度事業） ソフト事業及びハード事業用**

事業名	農業に関わりのある講座の開催		
総合計画上の事業名		担当課	産業振興課
予算事業名	農業総務事務事業	担当係	農務係

事業の内容  
 地元農産物を利用した農産加工など農業に係わりのある講座を開催する。  
 《講座の種類》農業体験講座、料理講座(前期・後期)、カントリーアレンジ講座(春・冬)、ミルクを使ったおやつ作り講座、しめ縄作り講座、漬物講座、みそ作り講座、おこしもん講座

事業の目的  
 市民を対象に、講座を受講してもらうことにより、地産地消を推進し、農業への理解を深める。

指標  
 各講座の受講者数  
 《算式》(実績)各講座の受講者数の計 (目標)各講座の定員の計  
 《考え方》受講者数を定員に到達させることにより、農業への理解を深める機会として効率的に活用できる。 事業費は講座に要する費用

【実績値及び目標値】

	実績(人)	目標(人)	職員数	事業費(決算見込額)千円
平成14年度	199		0.3	875
平成15年度	205		0.3	843
平成16年度	219	243	0.3	917
平成17年度	219	251	0.3	870
平成18年度		251	0.3	961
平成19年度		251	0.3	961
平成20年度		251	0.3	961

【達成率】 87%  
 成果指標の当該年度目標に対する達成度

【必要性】 A	必要性、有効性、効率性、市民満足度については、チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなしから選択
【有効性】 A	
【効率性】 B	
【市民満足度】 B	

【総合評価(担当課)】 B	総合評価については、 A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等) C 見直しが必要(縮小) D 廃止が相当 から選択 評価理由についても記載してください
市民を対象に行っているが、講座の種類によりやや偏りが見られるので開催日数等を検討する必要もある。	
【総合評価(審査会)】 B	
生涯学習講座との統合を検討すること	

【総合評価(最終評価)】 B

【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入

当課の講座につきましては、講師として市内の農村生活アドバイザーに依頼しており講座の材料にしても地元農産物を使用し「地産地消」を掲げ実施している。年間各種の講座を開催しているが講座の種類によっては、参加人数に偏りが見受けられるので開催日程等の検討をする。

【改革プランへの対応】(何をどのように実施したか)

講座については、農村生活アドバイザー(市内農家の主婦)にお願いしており季節に応じて地元産農作物を使用して講座を開催しています。参加者等については、広報等にてお知らせし応募を募っている。応募の結果次第で参加人数が決定するのでなかなか難しい。開催日についてもアドバイザーと協議し決定しているので変更等についても出来ない状況です。

総合評価及び今後の対応